

優秀賞4件選定

中小建築増は良い傾向

JABMEE
6月23日表彰

建築設備技術者協会(JABMEE、野部達夫会長)は18日、第8回JABMEE優秀賞4件を発表した。環境設備優秀賞は「二子玉川ライズII-a街区棟」と「飯田クリニックのスマートクリニック」への取り組み、環境技術優秀賞は「デスク組込み型パーソナル空調の開発」と「小田急百貨店における省エネルギー改修事業の概要と省エネルギー効果および設備性能検証」がそれぞれ選ばれた。表彰式は6月23日の総会後に開く。

坊垣和明審査委員長は「候補業績に中小規模の建築が増えているのは良い傾向だ。受賞業績はいずれも技術・建築ともに優れた性能を發揮しており、こうした取り組みが波及することを期待している」と総評した。

4件の受賞者は次のとおり(敬称略)。
 〇JABMEE環境設備優秀賞

- 〇二子玉川ライズII-a街区棟(2016年2月号) 〃佐藤孝輔(日建設)、井上慎(同)、菊田剛正(同) 〇飯田クリニックのスマートクリニックへの取り組み(16年4月号) 〃濱名有紀(三建設備工業)、成松学(同)、大倉俊男(同)、桑原亮一(同)
- 〇JABMEE環境技術優秀賞
- 〇デスク組込み型パーソナル空調の開発(16年9月号) 〃羽鳥大輔(三菱地所設計)、平須賀信洋(同)、加藤駿(同) 〇小田急百貨店における省エネルギー改修事業の概要と省エネルギー効果および設備性能検証(16年11月号) 〃西川雅弥(日本ファシリティソリューション)

日刊建設五業新聞

JABMEE 優秀賞に4件

6月23日表彰式

建築設備技術者協会(JABMEE、野部達夫会長)は18日、会誌「建築設備」に掲載された優れた報文の執筆者に贈る第8回「JABMEE優秀賞」の受賞者を発表した。15年1月号、16年12月号に掲載された報文を対象に、選考委員会(委員長・坊垣和明東京都市大名誉教授)が審査し、環境設備優秀賞と環境技術優秀賞にそれぞれ2件を選んだ。表彰式は6月23日に東京都港区の明治記念館で開く総会の終了後に行われる。

同賞は2010年度に創設。新築または改修した国内の建物の建築設備に関する報文の執筆者にJABMEE環境設備優秀賞、最新の建築設備のシステムや技術をテーマにした報文の執筆者にJABMEE環境技術優秀賞を授与している。

第8回の受賞報文と執筆者(敬称略、カッコ内は所属先)は次の通り。

【環境設備優秀賞】

- 〇二子玉川ライズII-a街区棟(東京都世田谷区) 〃佐藤孝輔(日建設)、井上慎(同)、菊田剛正(同)
- 〇飯田クリニックのスマートクリニックへの取り組み(福岡県大牟田市) 〃濱名有紀(三建設備工業)、大倉俊雄(同)、成松学(同)、桑原亮一(同)
- 【環境技術優秀賞】
- 〇デスク組込み型パーソナル空調の開発 〃羽鳥大輔(三菱地所設計)、平須賀信洋(同)、加藤駿(同)
- 〇小田急百貨店における省エネルギー改修事業の概要と省エネルギー効果および設備性能検証 〃西川雅弥(日本ファシリティソリューション)。

設備・技術で4点選出

第8回優秀賞決まる

JABMEE

建築設備技術者協会(JABMEE、野部達夫会長)は、第8回JABMEE優秀賞受賞報文を発表した。今回は、新築または改修した国内建物の建築設備で優れたものを評価する環境設備優秀賞と、最新の建築設備に関連する優れたシステム技術を評価する環境技術優秀賞の2部門で、各2点の計4点を選出された。表彰は6月23日に開

催予定の総会に併せて実施される。

部門の傾向について、「これまででは、さまざまな技術を組み合わせやすい大規模建物が主流となっていたが、近年は優れた中小規模建物も増えてきている。非常に望ましい傾向だ」と評した。一方の環境技術部門に関しては、「優れた技術や新しい技術はそうそう簡単に出てくるものではない。しかし、『省エネ』を取り入れた建物が多くなっ

てきており、ストック重視の観点では非常に歓迎できる」と述べた。優秀賞に選出された4点に対しては、「意欲的・先進的な技術やシステムを組み込んだ建築を紹介するもの」と評価した。

【JABMEE環境技術優秀賞】デスク組込み型パーソナル空調の開発(16年9月号) 羽鳥大輔(三菱地所設計)、平須賀信洋(同)、加藤駿(同) 小田急百貨店における省エネルギー改修事業の概要と省エネルギー効果および設備性能検証(16年11月号) 西川雅弥(日本ファシリティ・ソリューション)

同賞では、会誌「建築設備士」の過去2年分(15年1月号〜16年12月号)に掲載された報文を対象に優れたものを選定。優秀賞は、会員の発揚や誌面の向上、技術の普及向上などを目的に選出される。

選考委員会委員長を務めた坊垣和明(東京都大

学名誉教授)は、環境設備

【JABMEE環境設備優秀賞】二子玉川ライズII-a街区(16年2月号) 佐藤孝輔(日建設計)、井上慎(同)、菊田剛正(同) 飯田クリニックのスマートクリ

ニックへの取り組み(16

年4月号) 濱名有紀(三建設備工業)、成松学(同)、大倉俊雄(同)、桑原亮一(同)

【JABMEE環境技術優秀賞】デスク組込み型パーソナル空調の開発(16年9月号) 羽鳥大輔(三菱地所設計)、平須賀信洋(同)、加藤駿(同) 小田急百貨店における省エネルギー改修事業の概要と省エネルギー効果および設備性能検証(16年11月号) 西川雅弥(日本ファシリティ・ソリューション)

【JABMEE環境設備優秀賞】二子玉川ライズII-a街区(16年2月号) 佐藤孝輔(日建設計)、井上慎(同)、菊田剛正(同) 飯田クリニックのスマートクリ

ニックへの取り組み(16

年4月号) 濱名有紀(三建設備工業)、成松学(同)、大倉俊雄(同)、桑原亮一(同)

【JABMEE環境設備優秀賞】二子玉川ライズII-a街区(16年2月号) 佐藤孝輔(日建設計)、井上慎(同)、菊田剛正(同) 飯田クリニックのスマートクリ

ニックへの取り組み(16

年4月号) 濱名有紀(三建設備工業)、成松学(同)、大倉俊雄(同)、桑原亮一(同)

【JABMEE環境設備優秀賞】二子玉川ライズII-a街区(16年2月号) 佐藤孝輔(日建設計)、井上慎(同)、菊田剛正(同) 飯田クリニックのスマートクリ

ニックへの取り組み(16

熱産業経済新聞

JABMEE優秀賞の受賞者を決定

建築設備技術者協会

(一社) 建築設備技術者協会(会長・野部達夫氏)は、このほど「第8回JABMEE優秀賞」の受賞者を決定した。

この表彰制度は、同協会の会報「建築設備士」の誌面の向上や技術の普及向上などを目的に、同誌前年号および前々年号に掲載された報文のうち優れたものを表彰するもの。

今回の受賞論文と執筆者は次の通り。

【JABMEE環境設備優秀賞】▽二子玉川ライズII-a街区棟(二〇一六年二月号掲載) 佐藤孝輔(日建設計) 他、計三名▽飯田クリニックのスマートクリニックへの取り組み(二〇一六年四月号掲載) 濱名有紀(三建設備工業) 他、計四名

【JABMEE環境技術優秀賞】▽「デスク組込み型パーソナル空調の開発」(二〇一六年九月号掲載) 羽鳥大輔(三菱地所設計) 他、計三名▽「小田急百貨店における省エネルギー改修事業の概要と省エネルギー効果および設備性能検証」(二〇一六年十一月号掲載) 西川雅弥(日本ファシリティ・ソリューション)

「JABMEE優秀賞」

中小規模 施設 導入が顕著

建築設備技術者協会(5年1月〜16年12月)に(JABMEE、野部達 発行された会誌「建築設 夫会長)は18日、第8回 JABMEE優秀賞の選 考結果を発表した。環境 設備優秀賞が▽二子玉川 ライズII a街区棟▽飯 田クリニックのスマート

クリニックへの取り組み の2点。環境技術優秀 賞が▽デスク組みみ型パ ーソナル空調の開発▽小 田急百貨店における省エ ネルギー改修事業の概要 と省エネルギー効果およ び設備性能検証の2 点。最優秀賞は見送りと した。6月23日の総会後 に表彰式を行う。

前年と前々年(201 1)に表彰式を行う。 選考委員会委員長の坊 垣和明(東京都立大学名誉 教授)は「大規模な公共施 設だけでなく中小規模建 物が二次審査に多く残っ た」と評価した上で「放 射空調や太陽熱利用など はもっと使 われても良 い」「報文 執筆ではデ ータを示す など、実績 を意識した 内容を盛り 込んでほし い」と要望



環境設備優秀賞を受賞した二子玉川 ライズII a街区棟(世田谷区) 優秀各賞

の講評は次の通り。
【環境設備優秀賞】
▽二子玉川ライズII a街区棟―執筆者・佐藤 孝輔氏(日建設計)他2 人。11・2杉の都内最大 級の民間複合再開発。 高層棟オフィスでは水 熱源マルチパッケージジ 방식을、低層棟ではガス 焚冷温水発生器とインバ ーターボ冷凍機を、路 面店には空冷マルチパッ ケージ空調機を採用。予 冷予熱のためのクール& ヒートレンチや高断熱 窓、降雨をろ過・減菌し て再利用する水循環シス テムを採用するなど、 環境負荷を徹底的に削 減。まちづくりと施設 建築物でLEEDのゴ ールド認証を、JHEPで 最高ランクAAAを取得 した
▽飯田クリニックのス マートクリニックへの取 り組み―執筆者・濱名有 紀氏(三建設備工業)他 3人―小規模施設での取 り組みを評価した。太陽 熱集熱システムからの温 水を透析水の一次昇温 ベースロードとして通年 利用し、余剰分は一般給 湯や放射パネル温水の予 熱などに活用。透析室で は水式天井放射空調を採 用。BEMSデータを院 内で見える化した管理で 継続性を担保した
【環境技術優秀賞】
▽デスク組みみ型パ ーソナル空調の開発―執筆 者・羽鳥大輔氏(三菱地 所設計)他2人―在室者 の近くにあるデスクの直 近から気流を吹き出し、 手が接触する机上の温度 をコントロール。机の 下の冷温水パネルで脚部 への放射効果も期待し た。空調エネルギーを大 幅に低減しながら快適性 を高めるパーソナル空調 の技術を考える参考とな る
▽小田急百貨店におけ る省エネルギー改修事業 の概要と省エネルギー効 果および設備性能検証― 西川雅弥氏(日本フアシ ン)―熱源システムのS COPを2・5倍の1 ・84に改善するため全面 更新。統合型冷却塔の採 用や空調三次側回路の系 統統合、熱交換器を新設 し密閉回路にしてポンプ 容量を4割低減した。 循環式ヒートポンプ給湯 器新設、BEMS装置 新設など汎用(はんよ う)技術の活用で目標値 を上回る省エネ・省C O₂・ピーク電力抑制を 達成した

はもっと使 われても良 い」「報文 執筆ではデ ータを示す など、実績 を意識した 内容を盛り 込んでほし い」と要望

ZEB化実現も視野に

JABMEE優秀賞

環境設備 各2件
環境技術

一般社団法人建築設備技術者協会（会長 野部達夫氏、JABMEE）

の「JABMEE優秀賞」は、会員発揚と技術の普及向上などを目的に協会創立20周年の2010年に創設。協会誌「建築設備士」に掲載した過去2年間の報文を対象とし、新改築の国内建築設備に関する「JABMEE環境設備優秀賞」、最新の設備システム技術に関する「JABMEE環境技術優秀賞」の二本立て。8回目となる今回は、15〜16年の報文を坊垣和明・東京都市大学名誉教授を委員長とする選考委員会が審査し、「環境設備優秀賞」に「子玉川ライズII-a街区棟」「飯田クリニックのスマートクリニックへの取り組み」、「環境技術優秀賞」に「デスク組み込み型パーソナル空調の開発」「小田急百貨店における省エネ改修事業の概要と省エネ効

果および設備性能検証」を決定した（一画参照）

子玉川ライズII-a街区棟（報文作成は日建設計・佐藤孝輔部長他）は、15年6月に竣工した地上30階地下2階建て延べ15・6万平方メートルの高層階からなる複合ビル。環境対策として水熱源マルチパッケージ（高層階・インバータターボ冷凍機（低層階）を主力とした高効率空調や熱源制御システム、タクス・アンビエント空調を取り入れるとともに潜・顕熱分離空調やパーソナル吹出を導入し執務者の生産性や快適性の向上を目指し、環境性能評価の事実上の国際標準とされるLEED認証を街づくり（LEED-ND）、施設建物（LEED-NC）ともにGold取得している。

「スマートクリニック」を目標とした。トップランナーの高効率ビル用マルチを主力とし、太陽熱を利用した加熱給湯システムや天井放射空調・潜顕熱利用空調を目的別に組み合わせた。また11キップの太陽光発電を導入し、一次エネルギー使用量実績は標準値を56%下回る1千313MJ（メガジュール）。太陽光発電量も計画値を8%上回る単位延べ面積当たり84MJとなり、ZEB化の実現の可能性を示した。

デスク組み込み型パーソナル空調（三菱地所設計・羽鳥大輔副部長他3）は、事務機の床下から冷温水配管を接続してDCファンや冷水コイル、水放射パネルと構成した。15年に竣工した大手門タワー・JXビルの一部エリアに考案し、実運用している。開発意図は、放射空調システムとタクスデスクを組み合わせ、タクス（タクスデスク）とアンビエント（放射空調）運用することで執務環境の快適性と空調運用コストの低減化を目指した。満足度と省エネ効果については検証中。

小田急の省エネ改修と効果、性能検証（日本フアンリテイナリユーシヨン・西川雅弥主幹技師）は、大規模賃貸商業ビルとして67年に竣工した新宿駅本屋ビルの省エネ改修計画と13年6月に完成後の3年間にわたる省エネ効果・設備性能検証を報告したもの。都条例による温室効果ガス（GHG）削減規制に対応すべく施設全体の2割、熱源・水搬送設備の約6割のGHG排出量削減を目指した。熱源システムではSICOPで2・5倍の高効率熱源機や負荷追隨性が高いインバータターボ冷凍機の導入、蓄熱槽の断熱性の改善、冷却塔系の統合制御などを積み重ね、熱源設備では約7割のGHG排出量削減を実証した。

飯田クリニック（三建設備工業・濱名有紀氏他4）は14年11月に竣工した4階建て延べ1千688平方メートルの医療施設。経済産業省のZEB実証事業でもあり、新築移転時からZEB化を念頭に省エネや環境配慮への取り組みを実現する次世代型